

平成26年度決算に係る

定期監査調書

平成27年7月

教育委員会事務局 人権教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等.....	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況.....	//
3	組織及び業務調べ.....	2 頁
4	職員の定員、現員調べ.....	//
5	役付職員の調べ.....	//
6	主な事業に関する調べ.....	3 頁
7	決算調書（総括表）.....	12 頁
8	事業別実施状況調べ.....	14 頁
9	予備費の充用調べ.....	16 頁
10	繰越関係調べ.....	//
11	収入証紙取扱額調べ.....	//
12	収入事務処理状況調べ.....	17 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱い状況	
13	税外収入未済額調べ.....	18 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況.....	19 頁
15	税外収入不納欠損額調べ.....	22 頁
16	債務負担行為の状況調べ.....	23 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ.....	25 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ.....	27 頁
19	財産に関する調べ.....	//
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受取状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	

20	財産の貸付及び使用許可調べ	29頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	〃
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	〃
23	自動車の管理状況	〃
24	寄附物件の受納状況調べ	〃
25	備品処分状況の調べ	〃
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	〃
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	30頁
	(1) 繰上表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	32頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等												
<p>○鳥取県育英奨学資金貸付金について、未収金の額は増加しており、依然として多額の未収金があった。</p> <p>未収金額：92,633,122円</p>	<p>1 未収金の現状等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">返還未納額</th> <th style="text-align: center;">前年増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">平成24年度末</td> <td style="text-align: center;">79,249千円</td> <td style="text-align: center;">11,526千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年度末</td> <td style="text-align: center;">92,633千円</td> <td style="text-align: center;">13,384千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成26年度末</td> <td style="text-align: center;">107,852千円</td> <td style="text-align: center;">15,219千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 原因</p> <p>(1) 債権の発生原因 経済的理由により修学が困難な者に対して奨学金を貸与している。</p> <p>(2) 過年度未収金が発生した原因 貸与終了後、高校分は15年以内、大学分は20年以内に月賦又は半年賦の方法により返還する制度であるが、返還が滞っている者があるため。</p> <p>(3) 新規未収金が発生した原因 (2)と同様</p> <p>3 過年度未収金に対する処理方針 催告状や法的措置予告といった督促文書を、本人だけではなく、連帯保証人や保証人にも送付し、未納状況を周知し返還を求める。また、電話督促や個別訪問による返還交渉を行い、状況によっては分割納付に応じる等柔軟に対応し、返還を促す。 それでもなお返還が進まない者については、債権回収会社へ回収業務を委託したり、法的措置を行うなど、厳正な対応を行う。</p> <p>4 未収金が発生しないよう、その発生した年度内に回収するために新たに力を入れる対策 未納になり始めた早い段階での納付交渉が効果的であり、督促状の発送に併せて電話督促を行う。その専任の非常勤職員を平成25年度に1名増員した。 未就職や出産など、所得が低く返還が困難な期間は返還請求を猶予し、未納が発生する要因を減らすよう平成25年3月に規則改正を行った。 平成26年度は債権回収会社への回収業務委託の件数及び金額を例年より大幅に増やし、対応を強化した。</p>	区 分	返還未納額	前年増減額	平成24年度末	79,249千円	11,526千円	平成25年度末	92,633千円	13,384千円	平成26年度末	107,852千円	15,219千円
区 分	返還未納額	前年増減額											
平成24年度末	79,249千円	11,526千円											
平成25年度末	92,633千円	13,384千円											
平成26年度末	107,852千円	15,219千円											

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(班)名	課の主な所掌事務
人権教育課	社会教育担当	(1) 人権教育の企画に関すること。
	学校教育担当	(2) 人権教育の指導に関すること。
	育英奨学室	(3) 進学奨励事業に関すること。 (4) 育英奨学事業に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	
定員	11	11	0	0	0	0	11	11	
現員	11	11	0	0	0	0	11	11	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	5	5	0	0	0	0	5	5	・納付勸奨専門員(2名) ・一般事務(3名)

5 役付職員の調べ

(平成27年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	岸根 弘幸	1	3	
課長補佐兼 育英奨学室長	小椋 誠		3	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																							
学校人権教育振興事業 決算(見込)額 1,792千円 (財源内訳) 一般財源 1,792千円 ○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と男女共同参画の推進 ○政策項目 IV 人財とつとり 7.人権尊重社会の推進	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 学校教育における人権教育の推進・充実のため、研修会の開催や学校への助言・指導を行う。 (イ)事業の実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名(対象等)</th> <th>ねらいと内容</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"> ①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者) </td> <td>重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ねらいと内容</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〈小・中学校〉 全市町村で開催</td> <td>延べ18回</td> </tr> <tr> <td>〈高校・特別支援学校〉 4月25日に開催</td> <td>参加者42人</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)</td> <td>県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。</td> <td>7月24日実施 参加者14人</td> </tr> <tr> <td>③人権教育指導方法等研修会 (教頭以上の管理職)</td> <td>「鳥取県人権教育基本方針―第1次改訂―」への疑義等に対する県教育委員会の見解を周知するよう計画していたが、周知が図られたことから、実施を見送った。</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>④学校人権教育推進事業(訪問指導)</td> <td>各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。</td> <td>指導助言 延べ177回</td> </tr> </tbody> </table>	事業名(対象等)	ねらいと内容	実績	①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)	重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねらいと内容</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〈小・中学校〉 全市町村で開催</td> <td>延べ18回</td> </tr> <tr> <td>〈高校・特別支援学校〉 4月25日に開催</td> <td>参加者42人</td> </tr> </tbody> </table>	ねらいと内容	実績	〈小・中学校〉 全市町村で開催	延べ18回	〈高校・特別支援学校〉 4月25日に開催	参加者42人		②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)	県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。	7月24日実施 参加者14人	③人権教育指導方法等研修会 (教頭以上の管理職)	「鳥取県人権教育基本方針―第1次改訂―」への疑義等に対する県教育委員会の見解を周知するよう計画していたが、周知が図られたことから、実施を見送った。	休止	④学校人権教育推進事業(訪問指導)	各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。	指導助言 延べ177回
事業名(対象等)	ねらいと内容	実績																							
①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)	重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねらいと内容</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〈小・中学校〉 全市町村で開催</td> <td>延べ18回</td> </tr> <tr> <td>〈高校・特別支援学校〉 4月25日に開催</td> <td>参加者42人</td> </tr> </tbody> </table>	ねらいと内容	実績	〈小・中学校〉 全市町村で開催	延べ18回	〈高校・特別支援学校〉 4月25日に開催	参加者42人																		
ねらいと内容	実績																								
〈小・中学校〉 全市町村で開催	延べ18回																								
〈高校・特別支援学校〉 4月25日に開催	参加者42人																								
②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)	県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。	7月24日実施 参加者14人																							
③人権教育指導方法等研修会 (教頭以上の管理職)	「鳥取県人権教育基本方針―第1次改訂―」への疑義等に対する県教育委員会の見解を周知するよう計画していたが、周知が図られたことから、実施を見送った。	休止																							
④学校人権教育推進事業(訪問指導)	各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。	指導助言 延べ177回																							
	イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 児童生徒の実態に応じ、人権を身近に感じられる授業実践について、実践事例を紹介しながら模擬授業の形で具体的に提案した。(事業①)																								
	ウ 成果 ① 率直な質疑応答・意見交換を通じて、重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、丁寧に周知することができた。(事業①) ② 県外の先進的実践(家庭・地域・関係機関との連携や、生徒支援・進路指導・学級担任等による校内連携を進めていくことが人権文化の創造に大きくつながっている)に学び、人権が尊重される学校づくりを具体的にどのように進めていくか、協議を深めることができた。(事業②)																								
	エ 課題 他事業(県立学校人権教育推進支援事業、人権教育実践事業等)の成果を取り入れながら、模擬授業による提案の在り方、指導助言の内容など、継続的に改善・充実に努める必要がある。(事業①、④)																								

事業名	概	要															
<p>人権教育実践事業</p> <p>決算(見込)額 911千円</p> <p>(財源内訳) 国庫委託金 794千円 一般財源 117千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>V 支え合う(1)人権の尊重と男女共同参画の推進</p> <p>○政策項目</p> <p>IV 人財とっとり</p> <p>7.人権尊重社会の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <p>学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施し、人権教育の一層の推進を図る。その成果を全県に普及し、他の人権を大切にしようとする児童生徒の育成を図る。(国委託「人権教育研究推進事業」)</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>モデル校を指定し、実践的な研究を行った。</p> <table border="1" data-bbox="335 560 1364 1971"> <thead> <tr> <th data-bbox="335 560 446 604">対象校</th> <th data-bbox="446 560 1029 604">課題(△)と取組内容(○)</th> <th data-bbox="1029 560 1364 604">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="335 604 446 929">鳥取市立美保小学校</td> <td data-bbox="446 604 1029 929"> <p>△成功体験を持っている児童が少なく、より良い集団をつくっていかうとする意識が低い。</p> <p>○「ありがとうカード」(感謝の手紙)、「スマイルタイム」(学級遊び)などを通して心の居場所づくりを進めた。</p> <p>○話し合い活動をとおして民主的に物事を進める自治力が育まれた。</p> </td> <td data-bbox="1029 604 1364 929"> <p>○児童アンケートでの肯定的回答の増加。</p> <p>「クラスは明るく楽しい感じがしますか」</p> <p>91.4%(12月)←87.6%(6月)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="335 929 446 1198">米子市立加茂小学校</td> <td data-bbox="446 929 1029 1198"> <p>△自他の違いを認め尊重する意識が定着していないこと。</p> <p>○自他のよさを知る活動や全校縦割り活動などを通して仲間づくりを充実させた。</p> <p>○「人権についての教育」に関する題材を重点的に選び、研究・実践を充実させた。</p> </td> <td data-bbox="1029 929 1364 1198"> <p>○児童、教職員、保護者による意識調査での肯定的回答の増加。</p> <p>「学校は楽しいですか」</p> <p>児童: 72% (H24 63%)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="335 1198 446 1556">米子市立河崎小学校</td> <td data-bbox="446 1198 1029 1556"> <p>△学習面の個人差が大きく、学習に向かう構えができていない児童がいる。</p> <p>○ペア対話や教え合い等、友だちとの関わりの中で、自分の思いや考えを表現する力を育てる授業づくりに取り組んだ。</p> <p>○「ほめ言葉のシャワー」(一人の児童をみんなで褒める)等、安心して生活・学習できる居場所づくりに取り組んだ。</p> </td> <td data-bbox="1029 1198 1364 1556"> <p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答の増加。</p> <p>「友だちのよいところを見つけようとしていますか。」</p> <p>児童: 93.1%(10月)←81.5%(6月)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="335 1556 446 1971">米子市立加茂中学校</td> <td data-bbox="446 1556 1029 1971"> <p>△仲間づくりの取組の不十分さ。人権を身近に感じられる教材開発の必要。</p> <p>○「加茂中人権宣言」をキーワードにして、授業づくり、学級づくりの取組でお互いを認め合う活動を充実させた。</p> <p>○「他者との関わり」「体験」を大切にしたい題材構成と、ねらいを達成できる学習展開を工夫し、実践を重ねてきた。</p> </td> <td data-bbox="1029 1556 1364 1971"> <p>○i-check(質問紙調査)で「あなたは今のクラスが好きですか。」「先生はクラスのみんなのことを、ほめたり、はげましたりしてくれますか。」といった質問に対して、肯定的な回答が15ポイント以上増えた。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	対象校	課題(△)と取組内容(○)	成果	鳥取市立美保小学校	<p>△成功体験を持っている児童が少なく、より良い集団をつくっていかうとする意識が低い。</p> <p>○「ありがとうカード」(感謝の手紙)、「スマイルタイム」(学級遊び)などを通して心の居場所づくりを進めた。</p> <p>○話し合い活動をとおして民主的に物事を進める自治力が育まれた。</p>	<p>○児童アンケートでの肯定的回答の増加。</p> <p>「クラスは明るく楽しい感じがしますか」</p> <p>91.4%(12月)←87.6%(6月)</p>	米子市立加茂小学校	<p>△自他の違いを認め尊重する意識が定着していないこと。</p> <p>○自他のよさを知る活動や全校縦割り活動などを通して仲間づくりを充実させた。</p> <p>○「人権についての教育」に関する題材を重点的に選び、研究・実践を充実させた。</p>	<p>○児童、教職員、保護者による意識調査での肯定的回答の増加。</p> <p>「学校は楽しいですか」</p> <p>児童: 72% (H24 63%)</p>	米子市立河崎小学校	<p>△学習面の個人差が大きく、学習に向かう構えができていない児童がいる。</p> <p>○ペア対話や教え合い等、友だちとの関わりの中で、自分の思いや考えを表現する力を育てる授業づくりに取り組んだ。</p> <p>○「ほめ言葉のシャワー」(一人の児童をみんなで褒める)等、安心して生活・学習できる居場所づくりに取り組んだ。</p>	<p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答の増加。</p> <p>「友だちのよいところを見つけようとしていますか。」</p> <p>児童: 93.1%(10月)←81.5%(6月)</p>	米子市立加茂中学校	<p>△仲間づくりの取組の不十分さ。人権を身近に感じられる教材開発の必要。</p> <p>○「加茂中人権宣言」をキーワードにして、授業づくり、学級づくりの取組でお互いを認め合う活動を充実させた。</p> <p>○「他者との関わり」「体験」を大切にしたい題材構成と、ねらいを達成できる学習展開を工夫し、実践を重ねてきた。</p>	<p>○i-check(質問紙調査)で「あなたは今のクラスが好きですか。」「先生はクラスのみんなのことを、ほめたり、はげましたりしてくれますか。」といった質問に対して、肯定的な回答が15ポイント以上増えた。</p>	
対象校	課題(△)と取組内容(○)	成果															
鳥取市立美保小学校	<p>△成功体験を持っている児童が少なく、より良い集団をつくっていかうとする意識が低い。</p> <p>○「ありがとうカード」(感謝の手紙)、「スマイルタイム」(学級遊び)などを通して心の居場所づくりを進めた。</p> <p>○話し合い活動をとおして民主的に物事を進める自治力が育まれた。</p>	<p>○児童アンケートでの肯定的回答の増加。</p> <p>「クラスは明るく楽しい感じがしますか」</p> <p>91.4%(12月)←87.6%(6月)</p>															
米子市立加茂小学校	<p>△自他の違いを認め尊重する意識が定着していないこと。</p> <p>○自他のよさを知る活動や全校縦割り活動などを通して仲間づくりを充実させた。</p> <p>○「人権についての教育」に関する題材を重点的に選び、研究・実践を充実させた。</p>	<p>○児童、教職員、保護者による意識調査での肯定的回答の増加。</p> <p>「学校は楽しいですか」</p> <p>児童: 72% (H24 63%)</p>															
米子市立河崎小学校	<p>△学習面の個人差が大きく、学習に向かう構えができていない児童がいる。</p> <p>○ペア対話や教え合い等、友だちとの関わりの中で、自分の思いや考えを表現する力を育てる授業づくりに取り組んだ。</p> <p>○「ほめ言葉のシャワー」(一人の児童をみんなで褒める)等、安心して生活・学習できる居場所づくりに取り組んだ。</p>	<p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答の増加。</p> <p>「友だちのよいところを見つけようとしていますか。」</p> <p>児童: 93.1%(10月)←81.5%(6月)</p>															
米子市立加茂中学校	<p>△仲間づくりの取組の不十分さ。人権を身近に感じられる教材開発の必要。</p> <p>○「加茂中人権宣言」をキーワードにして、授業づくり、学級づくりの取組でお互いを認め合う活動を充実させた。</p> <p>○「他者との関わり」「体験」を大切にしたい題材構成と、ねらいを達成できる学習展開を工夫し、実践を重ねてきた。</p>	<p>○i-check(質問紙調査)で「あなたは今のクラスが好きですか。」「先生はクラスのみんなのことを、ほめたり、はげましたりしてくれますか。」といった質問に対して、肯定的な回答が15ポイント以上増えた。</p>															

イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

人権教育の指導方法の根幹である「協力」「参加」「体験」についての理解が浸透するようモデル校の課題に即した指導を行った。

ウ 成果

各学校の課題意識に応じた指導方法の改善・充実が行われた。

エ 課題

研究成果を共有する場面(人権教育主任研究協議会等)の在り方について継続的に工夫・改善していく必要がある。

事業名	概 要												
<p>生活につながると っとり人権教育創 造事業</p> <p>決算(見込)額 476千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 476千円</p> <p>○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と 男女共同参画 の推進</p> <p>○政策項目 IV人財とっとり 7.人権尊重社会 の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 いじめ、不登校等の未然防止に向け、児童生徒の「居場所づくり」「絆づくり」について人権教育の視点から研究する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 児童生徒が自己存在感を感じられる居場所づくり、児童生徒が主体的に活躍できる場面を実現する絆づくりを研究テーマとする授業研究会に、指導・助言者(大学教授等及び指導主事)を派遣し、研究を支援した。</p> <table border="1" data-bbox="427 539 1206 714"> <thead> <tr> <th>学 校</th> <th>研究テーマ</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉吉市立上灘小学校</td> <td>自尊感情</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>伯耆町立岸本小学校</td> <td>自己肯定感・共感性</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>伯耆町立二部小学校</td> <td>自尊感情</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 児童生徒の実態を踏まえて多様な教材・教具(学習課題)を準備したり、多様な表現方法を提示したりするなど、「居場所づくり」「絆づくり」に係る方策を指導した。</p> <p>ウ 成 果 「自己肯定感・共感性」「自尊感情」等の資質・能力の育成が図られた。 <成果の検証の例> ○自尊感情に係る児童アンケートの回答 A:はい B:いいえ</p> <p>(アンケート項目)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の考えや思いを発表・発言できる機会がある。 ②縦割り班やクラブ・委員会、運動会、学習発表会などで他の学年の人とも協力したり話し合ったりして楽しく活動できた。 ③自分にはよいところがある。 <p>エ 課 題 研究成果を共有する場面(人権教育主任研究協議会等)の在り方について継続的に工夫・改善していく必要がある。</p>	学 校	研究テーマ	実施回数	倉吉市立上灘小学校	自尊感情	3回	伯耆町立岸本小学校	自己肯定感・共感性	2回	伯耆町立二部小学校	自尊感情	6回
学 校	研究テーマ	実施回数											
倉吉市立上灘小学校	自尊感情	3回											
伯耆町立岸本小学校	自己肯定感・共感性	2回											
伯耆町立二部小学校	自尊感情	6回											

事業名	概	要		
<p>人権尊重のまちづくり推進支援事業</p> <p>決算(見込)額 627千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 627千円</p> <p>○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と男女共同参画の推進</p> <p>○政策項目 IV 人財とつとり 7.人権尊重社会の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <p>地域社会における人権尊重のまちづくりを住民一人一人が主体者として進められるよう、市町村が実施する人権教育施策、住民学習の充実への支援を行う。</p> <p>*参考(人権教育課と人権・同和对策課の関わり)</p> <div data-bbox="432 495 1401 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国 「人権教育・人権啓発の推進に関する法律」(H12)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><人権教育></p> <p>人権尊重の精神の涵養を目的とした教育</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><人権啓発></p> <p>国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)</p> </td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="493 815 1401 909" style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>文部科学省</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>法務省 (厚生労働省・総務省・内閣府)</p> </div> </div> <div data-bbox="411 972 1390 1205" style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>教育委員会(人権教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における人権教育の推進 ・社会教育における人権教育の推進 (人権教育の理念の周知、人権学習プログラムの提供、市町村人権教育担当者研修等) </div> <div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">連携</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>知事部局(人権・同和对策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題に関する事業の実施 ・人権啓発・教育の取組等 (啓発行事、啓発資料作成等) </div> </div> <div data-bbox="424 1267 956 1525" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市町村教育委員会・市町村</p> <p>社会教育関係団体(PTA・人推協等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進組織の確立 ・住民学習の機会の提供 (講座・学級・交流活動・小地域懇談会) ・指導者の育成等 </div> <div data-bbox="986 1267 1394 1413" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市町村</p> <p>県民 民間団体 企業 等</p> </div>	<p><人権教育></p> <p>人権尊重の精神の涵養を目的とした教育</p>	<p><人権啓発></p> <p>国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)</p>	<p>要</p>
<p><人権教育></p> <p>人権尊重の精神の涵養を目的とした教育</p>	<p><人権啓発></p> <p>国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)</p>			
	<p>(イ)事業の実施状況</p> <p>①市町村合同研究協議会</p> <p>市町村の行政関係者等と研究協議を行い、人権教育アドバイザーが市町村の抱える課題について助言を行った。</p> <p>○市町村合同研究協議会のメンバー構成</p> <p>県職員(人権教育課、各教育局、人権・同和对策課)、人権教育アドバイザー 市町村職員 等</p> <p>○人権教育アドバイザーの役割等</p> <p>【役割】 専門的見地からの指導・助言等</p> <p>【人数】 9名(東中西部各3名)</p>			

事業名	概		要
	市町村	アドバイザー	概 要
	南部町(7月22日)	一盛、新井	効果的な人権啓発について
	岩美町(10月16日)	竹本、加持谷	若年層の人権意識の向上と啓発方策
	日吉津村(11月25日)	佐藤、長柄	村人権・同和教育推進協議会の活性化について
	日南町(11月28日)	中尾	指導者の確保と養成について 日南町人権意識調査の有効的な活用について
	琴浦町(1月15日)	荒益、大下	町人権・同和教育推進協議会、各地区人権・同和教育推進研究協議会のあり方について
<p>②人権教育アドバイザー事業</p> <p>○事業の目的</p> <p>社会教育における人権教育の現状及び推進の方向性に関する共通理解、アドバイザーの資質向上等</p>			
事業	概 要		
会議	H26.5.29	県、市町村の人権教育の現状、方向性等について研	
研修会	H26.8.28	究協議を実施。(一部、市町村担当者と合同)	
県外研修会	最近の課題となっている分野等の県外の研修会にアドバイザーを派遣し、資質向上を図った。		
<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>特になし</p>			
<p>ウ 成果</p> <p>① 市町村合同研究協議会では、人権教育推進のための組織づくり、啓発事業の企画についてなど、市町村が抱える諸課題について、解決の方向性を見出すことができた。</p> <p>② アドバイザー研修会を一部市町村担当者と合同で開催したことで、新たな人権問題に関する市町村の取組状況について理解を深めることができた。</p>			
<p>エ 課題</p> <p>① 市町村合同研究協議会は希望制のため、開催する市町村に偏りが見られることから、市町村と県との連携強化を図るためにも、計画的な開催について市町村へ働きかける必要がある。</p> <p>② 人権教育アドバイザーの研修の機会を充実することで、新たに生起する人権問題に関する理解を深め、適切な助言ができるようにする必要がある。</p>			

事業名	概	要
奨学資金債権回収強化事業 決算(見込)額 9,265千円 (財源内訳) 一般財源 9,265千円 ○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 奨学金(進学奨励資金・育英奨学資金)未納額の増加を抑制するため、徴収促進の取組みを行う。 (イ)事業の実施状況 ① 徴収業務担当職員(職員2名)及び納付勧奨専門員(非常勤職員2名)を配置し、未納返還金の督促業務を専門的に行った。 ② 債権回収会社(サービサー)へ債権回収業務を委託した。(委託総数 347人) ③ 高額未納者等に対し、法的措置を行った。(支払督促 21人) ④ 未納になり始めた早い段階で、電話督促等の納付交渉を行った。 イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・未納になり始めた者への督促対応を行うとともに、滞納者の対応の困難度に応じた債権分類を行い、納付交渉にメリハリをつけた。 ・効率的な債権回収が行えるようサービサーへの連絡事項を保証人にまで拡大し、委託業務の督促体制を強化した。 ・また、委託する内容を極めて回収が困難なものから手数をかけて督促等を行えば回収できる見込みがあるものに変更するとともに、委託件数を増やし、電話、文書督促を専門に行えるサービサーの長所を生かした回収実績の増加を図った。(委託人数:H25 141人、H26 347人) ウ 成果 ① 上記イのように効率的な督促業務が行えたことから、収納額が約5億8千万円(H25年度:約5億3千万円)となり、未納額は約3億1千万円(H25年度:約3億2千万円)となった。 ② 債権回収会社への督促業務の委託により、一部の返還が進まない未納者からの返還が行われた。 (委託総数 347人→返還 234人(956件)・金額ベース回収率 22.0%) エ 課題 ① 長期未納者・高額未納者が多いことから、引き続き、更に効果的な債権回収方法を検討し、回収を促進する必要がある。 ② 現在取り組んでいる回収方法についても、効果を検証する必要がある。	

事業名	概	要																																							
育英奨学事業費 (育英奨学事業特別会計)	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 高等学校等・大学等に在学する者で、経済的理由により修学が困難な者に対して、育英奨学資金を貸与することにより、有用な人材を育成する。																																								
決算(見込)額 870,876千円	(イ)事業の実施状況 ○ 高等学校等 ① 奨学生数及び奨学資金貸与状況																																								
(財源内訳) 繰入金 364,764千円 元利収入 462,712千円 その他 43,400千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">奨学生数</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>新規採用※</th> <th>在学</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立</td> <td>189</td> <td>109</td> <td>730</td> <td>1,028</td> <td rowspan="3"> ・左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,549名) ・新規採用出願倍率 1.0倍 ・平成27年度に高校等へ進学予定の中学3年生を対象に予約採用を行った (出願者 266 名/採用者 266 名:H27 貸与者) </td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>72</td> <td>101</td> <td>348</td> <td>521</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>261</td> <td>210</td> <td>1,078</td> <td>1,549</td> </tr> <tr> <td>貸与総額</td> <td colspan="3">413,434 千円</td> <td></td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>貸与月額</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自 宅</td> <td>18,000 円</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>自宅外</td> <td>23,000 円</td> <td>35,000 円</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	区分	奨学生数			合計	備 考	新規採用※	在学	継続	国公立	189	109	730	1,028	・左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,549名) ・新規採用出願倍率 1.0倍 ・平成27年度に高校等へ進学予定の中学3年生を対象に予約採用を行った (出願者 266 名/採用者 266 名:H27 貸与者)	私立	72	101	348	521	計	261	210	1,078	1,549	貸与総額	413,434 千円				<table border="1"> <thead> <tr> <th>貸与月額</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自 宅</td> <td>18,000 円</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>自宅外</td> <td>23,000 円</td> <td>35,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	貸与月額	国・公立	私立	自 宅	18,000 円	30,000 円	自宅外	23,000 円	35,000 円
区分	奨学生数			合計	備 考																																				
	新規採用※	在学	継続																																						
国公立	189	109	730	1,028	・左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,549名) ・新規採用出願倍率 1.0倍 ・平成27年度に高校等へ進学予定の中学3年生を対象に予約採用を行った (出願者 266 名/採用者 266 名:H27 貸与者)																																				
私立	72	101	348	521																																					
計	261	210	1,078	1,549																																					
貸与総額	413,434 千円				<table border="1"> <thead> <tr> <th>貸与月額</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自 宅</td> <td>18,000 円</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>自宅外</td> <td>23,000 円</td> <td>35,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	貸与月額	国・公立	私立	自 宅	18,000 円	30,000 円	自宅外	23,000 円	35,000 円																											
貸与月額	国・公立	私立																																							
自 宅	18,000 円	30,000 円																																							
自宅外	23,000 円	35,000 円																																							
○将来ビジョン VI 育む (2)「人材・鳥取」 の推進	<p>※予約は中学3年生時の申請、在学は高校進学後の申請。</p> <p>② 平成26年度返還状況 調定総額 358,427,122円、返還総額 267,996,347円</p> <p>○ 大学等 ① 奨学生数及び奨学資金貸与状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">奨学生数</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>新規採用</th> <th>在学</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 学</td> <td>180</td> <td>442</td> <td>622</td> <td>622</td> <td rowspan="3"> ・左表のとおり奨学金の貸与を行った(756名) ・平成27年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.67倍(240名/400名) </td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>60</td> <td>74</td> <td>134</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>240</td> <td>516</td> <td>756</td> <td>756</td> </tr> <tr> <td>貸与総額</td> <td colspan="3">451,179 千円</td> <td></td> <td> 貸与月額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>国公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>② 平成26年度返還状況 調定総額 212,933,013円、返還総額 195,488,005円</p>	区 分	奨学生数			合計	備 考	新規採用	在学	継続	大 学	180	442	622	622	・左表のとおり奨学金の貸与を行った(756名) ・平成27年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.67倍(240名/400名)	専修学校	60	74	134	134	計	240	516	756	756	貸与総額	451,179 千円				貸与月額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>国公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	国公立	私立	45,000 円	54,000 円					
区 分	奨学生数			合計	備 考																																				
	新規採用	在学	継続																																						
大 学	180	442	622	622	・左表のとおり奨学金の貸与を行った(756名) ・平成27年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.67倍(240名/400名)																																				
専修学校	60	74	134	134																																					
計	240	516	756	756																																					
貸与総額	451,179 千円				貸与月額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>国公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	国公立	私立	45,000 円	54,000 円																																
国公立	私立																																								
45,000 円	54,000 円																																								
	イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・高校入学後早期に開始できるよう、手続きを見直した。 ・書類の不備等を減らすため、提出書類の様式を見直した。																																								

事業名	概 要
	<p>ウ 成 果 経済的理由により修学が困難な者の修学を支援した。</p> <p>エ 課 題 平成14年度に制度創設した育英奨学資金(高校分)の返還が本格化し、毎年返還者が増加(新規貸与者:年間約500人)するのに伴い、必然的に未納者・未納額が急増してきており、その対策が必要である。</p>

7 決算調書
(総括表)

【一般会計】

区分	科目	予 算			現 額			決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A - B - C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費支 出及び流 用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	教育振興費	8,231,000	△ 1,900,000	0	0	0	6,331,000	5,222,643	3,881,445	1,341,198	0	1,108,357	
	育英奨学事業費	689,317,000	△ 116,724,000	0	0	0	572,593,000	540,978,530	540,978,530	0	0	31,614,470	
	社会教育総務費	6,005,000	0	0	0	0	6,005,000	5,224,466	5,224,466	0	0	780,534	
	合計	703,553,000	△ 118,624,000	0	0	0	584,929,000	551,425,639	550,084,441	1,341,198	0	33,503,361	
同 上	教育費国库補助金	14,282,000	5,729,000	0	0	0	20,011,000	19,998,000			0	13,000	
	教育費委託金	2,200,000	△ 1,400,000	0	0	0	800,000	794,418			0	5,582	
	利子及び配当金	388,000	0	0	0	0	368,000	367,013			0	987	
財 源	授業料減免・奨学金 基金繰入金	6,185,000	1,351,000	0	0	0	7,536,000	7,235,244			0	300,756	
	延滞金	20,000	0	0	0	0	20,000	165,977			0	△ 145,977	
	進学奨励資金貸付 金元利収入	97,908,000	0	0	0	0	97,908,000	120,097,479			0	△ 22,189,479	
内 訳	雑入	50,000	0	0	0	0	50,000	387,807			0	△ 337,807	
	小計	121,013,000	5,680,000	0	0	0	126,693,000	149,045,938			0	△ 22,352,938	
	一般果費充当	582,540,000	△ 124,304,000	0	0	0	458,236,000	402,379,701			0	55,856,299	
	合計	703,553,000	△ 118,624,000	0	0	0	584,929,000	551,425,639			0	33,503,361	

(単位:円)

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

区分	科目	予算			現額			決算額	決算額の内訳		翌年度繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	修正予算額	繰越事業費及び経費繰越額	繰越事業費及び経費繰越額	計 A	本庁		出納機関				
歳出	育英奨学資金貸付事業費	987,516,000	△ 98,461,000	0	0	889,055,000	870,875,739	0	870,875,739	0	18,179,261		
	合計 a	987,516,000	△ 98,461,000	0	0	889,055,000	870,875,739	0	870,875,739	0	18,179,261		
同上	一般会計からの繰入	528,163,000	△ 116,314,000	0	0	411,849,000	364,764,318			0	47,084,682		
財源	前年度繰越金	10,000	729,000	0	0	739,000	739,103			0	△ 103		
内訳	貸付金元利収入	416,682,000	17,124,000	0	0	433,806,000	463,484,352			0	△ 29,678,352		
内訳	日本学生支援機構交付金	42,661,000	0	0	0	42,661,000	42,661,000			0	0		
内訳	合計 b	987,516,000	△ 98,461,000	0	0	889,055,000	871,648,773			0	17,406,227		
内訳	歳入歳出差引残額 b-a	0	0	0	0	0	773,034			0	△ 773,034		

8 事業別実施状況調べ

【一般会計】

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教育振興費) (主) 学校人権教育 振興事業	2,064,000	1,792,401	0	271,599	
(主) 人権教育実践 事業	950,000	910,777	0	39,223	
県立学校人権 教育推進支援 事業	2,609,000	2,043,929	0	565,071	全ての県立学校が、主体的に企画・立案・実施する人権教育を支援するため、それに要する経費を負担した。 →自校の課題解決に生徒・保護者を巻き込んだ実践が行われ、学校毎に特色ある人権教育の推進に反映させることができた。事業の成果を実践事例集として公表した。
(主) 生活につながる とっとり人権 教育創造事業	708,000	475,536	0	232,464	
教育振興費 計	6,331,000	5,222,643	0	1,108,357	
(育英奨学事業費) (主) 奨学資金債権 回収強化事業	10,126,000	9,265,382	0	860,618	
進学奨励事業	77,042,000	76,684,352	0	357,648	○国庫補助金の償還(73,152千円) 国庫補助金を財源とする奨学金だったため、平成24年度に返還された額の2/3を国に返還した。 ○返還免除の決定 所得が基準額を下回る世帯に対して返還免除の決定を行った。 (申請238件、決定187件) ○平成26年度収納状況 調定額324,362、収納額120,097千円

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果															
育英奨学事業	403,837,000	373,494,701	0	30,342,299	<p>○大学等進学資金助成金(1,205千円) 大学等への進学に際して、金融機関から借入れた教育ローン等の利息の一部を助成した。</p> <p>○修学奨励資金(336千円) 定時制・通信制に通う勤労学生に対して修学奨励資金を貸与した。</p> <p>○特別会計への繰出金(364,764千円) 鳥取県育英奨学資金(高校・大学等)を貸与するため、一般会計から特別会計へ繰出した。</p>															
県育英会助成事業	21,196,000	21,196,000	0	0	<p>(公財)鳥取県育英会の運営する東京学生寮について、適正な管理運営を指導するとともに経営の健全化を図るため、次のとおり助成した。</p> <table border="1" data-bbox="778 1146 1369 1556"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生寮管理者報酬 ・退職金積立</td> <td>10,030,950</td> <td>寮長2名分</td> </tr> <tr> <td>学生寮指導員給与 ・委託料等</td> <td>5,611,690</td> <td>指導員2名分</td> </tr> <tr> <td>給食業務委託料</td> <td>5,553,360</td> <td>補助率1/2 (食材費除く)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,196,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	補助金額	備考	学生寮管理者報酬 ・退職金積立	10,030,950	寮長2名分	学生寮指導員給与 ・委託料等	5,611,690	指導員2名分	給食業務委託料	5,553,360	補助率1/2 (食材費除く)	合計	21,196,000	
区分	補助金額	備考																		
学生寮管理者報酬 ・退職金積立	10,030,950	寮長2名分																		
学生寮指導員給与 ・委託料等	5,611,690	指導員2名分																		
給食業務委託料	5,553,360	補助率1/2 (食材費除く)																		
合計	21,196,000																			
育英奨学事業(給付型)	60,392,000	60,338,095	0	53,905	<p>授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の生徒の保護者に奨学のための給付金を給付した。</p> <p>【支給実績】 給与人員:819人 金額:59,996,100円</p>															
育英奨学事業費計	572,593,000	540,978,530	0	31,614,470																

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(社会教育総務費)					
(主) 人権尊重のまちづくり推進 支援事業	1,308,000	626,516	0	681,484	
社会人権教育 振興事業	4,697,000	4,597,950	0	99,050	人権教育の推進を担う鳥取県人権教育推進協議会へ補助を行い、「第39回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(H26.7.31 参加者 1,832名)の開催や「市町村人・同推協等活動状況調査」など幅広い活動を行った。
社会教育 総務費 計	6,005,000	5,224,466	0	780,534	
合 計	584,929,000	551,425,639	0	33,503,361	

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(主) 育英奨学事業 費	889,055,000	870,875,739	0	18,179,261	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ 該当なし

12 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金
- (2) 使用料
- (3) 手数料
- (4) 財産収入

収入目	入節	科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
		目	細目							
利子及び配当金	利子及び配当金			1	367,013	367,013	0	0	基金運用による利子	
本庁執行分					367,013	367,013	0	0		
合計					367,013	367,013	0	0		

(単位：円)

(5) 寄付金

該当なし

(6) 諸収入

【一般会計】

収入目	入節	科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
		目	細目							
延滞金				5	443,417	165,977	0	277,440	育英奨学金返還金に係る延滞金	
進学奨励資金貸付金元利収入				15,809	324,362,402	120,097,479	599,456	203,665,467	進学奨励資金償還金(高校・高専・大学)	
本庁執行分					324,362,402	120,097,479	599,456	203,665,467		
雑収入				10	563,000	170,000	0	393,000	中途退学等による過払奨学金未戻入金	
雑収入				22	174,860	168,410	0	6,550	親判手続等に要した費用(原簿者負担)	
雑収入				60	49,387	49,387	0	0	雇用保険料本人負担分	
雑収入				4	10	10	0	0	奨学金返還金受領口座等に係る預金利息	
本庁執行分					787,357	387,807	0	399,550		
合計					325,593,176	120,651,263	599,456	204,342,457		

(単位：円)

【育英奨学事業特別会計】

収入目	入節	科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
		目	細目							
貸付金元利収入				58,743	358,427,122	267,996,347	24,000	90,406,775		
雑収入				13,284	212,833,013	195,488,005	0	17,445,008		
雑収入				72,027	571,360,135	463,484,352	24,000	107,851,783		
雑収入				1	42,661,000	42,661,000	0	0		
本庁執行分					614,021,135	506,145,352	24,000	107,851,783		
合計					614,021,135	506,145,352	24,000	107,851,783		

(7) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

一般会計	収入科目(節)	収入済額	備考
特別会計	進学奨励資金貸付金元利収入	3,457,573	
	盲養奨学資金貸付金元利収入	1,087,200	
	合計	4,544,773	

イ つり銭の状況

つり銭の有無	無し	つり銭の額(円)	0
--------	----	----------	---

13 税外収入未済額調べ

【一般会計】

収入科目 目	区 節	前年度以前からの繰越額	左のうちの 収入済額	過年度分			現年度分			収入未 済額計 A+B	未収 理由	
				収入未済額 A	不納 欠損額	収入未済額 B	調定額	収入済額	不納 欠損額			収入未済額 B
延滞金	延滞金	277,440	0	0	277,440	0	0	0	0	277,440	滞納	
本庁執行分計(目)												
進学奨励資金 貸付金元利収入	進学奨励資金 貸付金元利収入	233,078,354	45,501,249	599,456	186,977,649	15,045,933	16,838,040	91,284,048	74,596,230	0	16,687,818	滞納
本庁執行分計(目)												
	過払金 未戻入	527,000	134,000	0	393,000	0	0	36,000	36,000	0	0	滞納
雑入	雑入	0	0	0	0	0	0	174,960	168,410	0	6,550	滞納
	その他	0	0	0	0	0	0	49,397	49,397	0	0	
本庁執行分計(目)												
合計		527,000	134,000	599,456	187,648,089	15,045,933	16,838,040	91,710,382	75,016,014	0	16,694,368	

【盲養奨学事業特別会計】

収入科目 目	区 節	前年度以前からの繰越額	左のうちの 収入済額	過年度分			現年度分			収入未 済額計 A+B	未収 理由	
				収入未済額 A	不納 欠損額	収入未済額 B	調定額	収入済額	不納 欠損額			収入未済額 B
貸付金元利収入	高等学校 等貸付金	75,325,148	17,859,867	16,000	57,449,281	23,906,518	20,215,620	283,101,974	250,136,480	8,000	32,957,494	滞納
	大学等貸 付金	17,307,974	4,070,782	0	13,237,192	7,772,890	3,282,413	195,625,039	191,417,223	0	4,207,816	滞納
本庁執行分計(目)												
合計		92,633,122	21,930,649	16,000	70,686,473	31,679,408	23,498,032	478,727,013	441,553,703	8,000	37,165,310	

14 未収金回収促進のための取組状況調べ

【一般会計】

収入科目		目		節		細節		
		延滞金加算金及び過料		延滞金				
債権管理事務取扱要領の作成の有無				<ul style="list-style-type: none"> ・未作成 (未作成の場合、その理由) 奨学資金元利収入に付随するものであるため。				
債権分類の実施 (分類状況が分かる資料を添付すること。)				<ul style="list-style-type: none"> ・未実施 (未実施の場合、その理由) 件数が少ないため分類の必要なし。				
区分	相手方	件数 (人)	相手の 状況	督促状 発行	催告	臨戸 訪問	分納 件数	回収 委託
過年度	個人	1人	—	×	<ul style="list-style-type: none"> ・文書 ○ ・電話 ○ 	2回実施	—	—
(上記以外の取組)								
(取組の効果)								

収入科目		目		節		細節		
		進学奨励資金元利収入		進学奨励資金元利収入		貸付金		
債権管理事務取扱要領の作成の有無				<ul style="list-style-type: none"> ・作成済み (H23年1月作成) 				
債権分類の実施 (分類状況が分かる資料を添付すること。)				<ul style="list-style-type: none"> ・実施済み (H27年3月実施) 				
区分	相手方	件数 (件)	相手の 状況	督促状 発行	催告	臨戸 訪問	分納 件数	回収 委託
現年度	個人	701	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文書 278件 ・電話 ○ 	約500件	—	—
過年度	個人	8,240	—	×			—	204

(上記以外の取組)

債権回収体制の強化(徴収業務に従事する職員2名と納付勧奨専門員(非常勤職員)2名の配置)により、電話督促や法的措置を強化した。

(取組の効果)

○現年度及び過年度未収金について、昨年度に続き収納の向上が見られた。今後も回収強化を図る。

【収納状況】

年 度	収納額(千円)			収納率(%)		
	過年度	現年度	計	過年度	現年度	全体
26	45,501	74,596	120,097	19.8	81.7	37.2
25	32,941	73,033	105,974	13.7	78.0	31.4
24	33,229	76,500	109,729	12.9	78.0	30.7
23	35,278	80,531	115,809	13.2	75.4	30.9

○県外在住及び法的措置後も返還が進まない未納者を中心として債権回収業務委託を行った。

委託債権 204人 59,445,211円 回収実績 158人 12,491,726円 (一部収納含む)

【育英奨学事業特別会計】

収入科目	目	節	細 節
	貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金
債権管理事務取扱要領の作成の有無		・作成済み (H26年1月作成)	
債権分類の実施 (分類状況が分かる資料を添付すること。)		・実施済み (H27年3月実施)	

区分	相手方	件数 (件)	相手の 状 況	督促状 発 行	催 告	臨 戸 訪 問	分納 件数	回収 委託
現 年 度 分	個人	9,816	—	○	・文書 692件 ・電話 ○	約250件	件 —	人 —
過 年 度 分	個人	10,402	—	×			—	143

(上記以外の取組)

債権回収体制の強化(徴収業務に従事する職員2名と納付勸奨専門員(非常勤職員)2名の配置)により、電話督促や法的措置を強化した。

(取組の効果)

○平成14年度から事業を開始した高校奨学金の返還が増加しており、今後も徴収体制を整え、未納が増大しないよう努めていく。

年 度	収納額(千円)			収納率(%)		
	過年度	現年度	計	過年度	現年度	全体
26	21,930	441,554	463,484	23.7	92.2	81.1
25	16,999	407,133	424,131	21.7	93.0	82.1
24	13,984	355,442	369,426	22.0	93.1	82.4
23	10,798	335,081	345,879	21.6	93.0	83.7

○県外在住及び法的措置後も返還が進まない未納者を中心として債権回収業務委託を行った。

委託債権 143人 19,795,601円

回収実績 76人 4,965,080円 (一部収納含む)

15 税外収入不納欠損額調べ

(単位:円)

【一般会計】

収入科目			不納欠損額	不納欠損の理由
目	節	細節		
進学奨励資金 貸付金元利収 入	進学奨励資金貸付 金元利収入		599,456	奨学生本人が精神若しくは身体に著しい障害を受けた(1件)ことから「貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例」の規定により、未納となっている金額を不納欠損処分した。
目 計			599,456	
合 計			599,456	

(単位:円)

【育英奨学事業特別会計】

収入科目			不納欠損額	不納欠損の理由
目	節	細節		
育英奨学資金 貸付金元利収 入	育英奨学資金貸付 金元利収入		24,000	奨学生本人が死亡した(1件)ことから「貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例」の規定により、未納となっている金額を不納欠損処分した。
目 計			24,000	
合 計			24,000	

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	執行(支出)状況					備考	
		議決 (補正・当初 の別)	期間	限度額		設定年度 の執行額 A	債務負担行為の期間					合 計 A+B
							25年度まで の執行額	26年度 執行額	27年度以降 の執行予定額	計 B		
平成21年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成21年 3月 当初	22年度から 26年度まで	795,972,000	0	523,910,000	2,826,000	0	0	526,736,000	高校	
平成22年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成22年 3月 当初	23年度から 27年度まで	795,972,000	0	451,201,000	5,556,000	4,332,000	4,332,000	461,089,000	高校	
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成23年 3月 当初	24年度から 28年度まで	795,972,000	0	318,464,000	138,695,000	3,909,000	3,909,000	461,068,000	高校	
平成24年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成24年 3月 当初	25年度から 29年度まで	707,436,000	0	154,716,000	138,694,000	157,424,000	157,424,000	450,834,000	高校	
平成25年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成25年 3月 当初	26年度から 30年度まで	707,436,000	0	0	127,663,000	259,882,000	259,882,000	387,545,000	高校	
平成26年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成26年 3月 当初	27年度から 31年度まで	635,064,000	0	0	0	402,545,000	402,545,000	402,545,000	高校	
高校貸付金 計				4,437,852,000	0	1,448,291,000	413,434,000	828,092,000	828,092,000	2,689,817,000		

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	執行(支出)状況						備考
		議決 (補正・当初 の別)	期間	限度額		設定年度 の執行額 A	債務負担行為の期間			計 B	合計 A+B	
							25年度まで の執行額	26年度 執行額	27年度以降 の執行予定額			
平成20年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成20年 3月当初	21年度から 28年度まで	284,904,000	0	172,914,000	540,000	0	173,454,000	173,454,000	大学	
平成21年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成21年 3月当初	22年度から 27年度まで	195,912,000	0	124,578,000	4,212,000	4,212,000	133,002,000	133,002,000	大学	
平成22年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成22年 3月当初	23年度から 28年度まで	779,544,000	0	392,517,000	50,175,000	1,080,000	443,772,000	443,772,000	大学	
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成23年 3月当初	24年度から 29年度まで	569,916,000	0	289,656,000	105,300,000	102,276,000	497,232,000	497,232,000	大学	
平成24年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成24年 3月当初	25年度から 30年度まで	569,916,000	0	145,260,000	145,152,000	200,772,000	491,184,000	491,184,000	大学	
平成25年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成25年 3月当初	26年度から 31年度まで	569,916,000	0	0	145,800,000	342,792,000	488,592,000	488,592,000	大学	
平成26年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成26年 3月当初	27年度から 32年度まで	569,916,000	0	0	0	501,444,000	501,444,000	501,444,000	大学	
大学貸付金 計				2,970,108,000	0	1,124,925,000	451,179,000	651,132,000	2,227,236,000	2,227,236,000		

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金 該当なし

(2)補助金

予算科目(育英奨学事業費)

① 国 補 分

補助金の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象 経費	実施計画承認又は内示 年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況		備 考	
						補助率及び 補助金額	交付申請 年月日		完 了 年月日
事業の内容			交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・実地 調査年月日				
鳥取県高校生等奨学給付金 (H26年度)	個人 (819名)	授業料以外の教育費	-	-	H26.9.22他	精算	H26.10.2他	59,996,100	
授業料以外の教育費負担を軽減		(補助率:定額)	H26.7.18他	-	-				
59,996,100		H26.9.22他	-	H26.7.18他					
本庁執行分計								59,996,100	
出納機関執行分計								0	
国 補 分 計								59,996,100	

② 単 県 分

(単位:円)

補助金の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象 経費	実施計画承認又は内示 年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況		備 考	
						補助率及び 補助金額	交付申請 年月日		完 了 年月日
事業の内容			交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・実地 調査年月日				
鳥取県学生寮運営事業補助金(S46年度)	(公財) 鳥取県育英会	人件費、給食委託、営繕補修	-	-	H27.5.14	概算 精算	H26.4.16他 H27.5.20	16,812,000 4,384,000	
学生寮(明倫館・清和寮)の運営		(補助率:定額)	H26.3.31	-	H27.5.13				
21,196,000		H26.4.1	H27.5.12	-					
鳥取県大学等進学資金助成金(H14年度)	個人 (23名)	教育ローンにかかる利息	-	-	H26.8.30	精算	H26.6.20	1,205,229	定率:50万円(120万円)を限度とし、借入金に係る利子のうち2%を利率として計算して得た額
大学等への進学に際して金融機関から借入れた教育ローンの一部を助成		(補助率:定率)	H26.4.5他	-	-				
1,205,229		H26.5.30	-	H26.4.5他					
本庁執行分計								22,401,229	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								22,401,229	

予算科目(社会教育総務費)

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	補助対象 経費	実施計画承認又は内示 年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況		備 考	
						補助率及び 補助金額	交付申請 年月日		完 了 年月日
事業の内容			交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・実地 調査年月日				
鳥取県人権教育推進事業費補助金(S63年度)	鳥取県人権教育推進協議会	人件費、事務費	-	-	H27.4.14	概算 精算	H26.4.18他 H27.4.20	4,550,000 35,000	
県研究集会の開催、調査研究事業、資料の刊行事業		(補助率:定額)	H26.3.26	-	-				
4,585,000		H26.4.4	H27.4.1	H27.4.1					
本庁執行分計								4,585,000	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								4,585,000	

(2-2)補助金(他課から担当替えを受けて執行するもの)

該当なし

(3)交付金 該当なし

(4)委託料

予算科目 (目)	国 補 原 単 の 別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況		備 考	
				予定価格 変更	契約年月日 (契約額) 契約額	委託期間 契約期間			支出 区分	支出 年月日		金額
教育振興費	国補	人権教育研究指定校 事業	鳥取市他 1市	— 790,408	H26.5.27 ~ H27.3.10	— (免除) 随	H27.3.10 H27.3.10	概算 精算	H26.7.11 H27.4.2	598,040 192,368		
予定価格が20万円 未満のもの										0		
本庁執行分計										790,408		
出納機関執行分計										0		
目 計										790,408		
育英奨学事業費	県単	鳥取県奨励奨励資金 事務処理委託	(株)鳥取県 情報センター	(H26.4.1) 628,020	H26.4.1 ~ H27.3.31	H26.3.28 (免除) 随	H27.3.31 H27.3.31	精算	H27.4.24	628,020	(株)鳥取県情報センターがプ ログラムの著作権を有してお り、財務会計システムと連動し た個別システムであるため。	
	県単	鳥取県育英奨学資金 事務処理委託	(株)鳥取県 情報センター	(H26.4.1) 1,359,936	H26.4.1 ~ H27.3.31	H26.3.18 (免除) 随	H27.3.31 H27.3.31	精算	H27.4.15	1,359,720		
	県単	鳥取県奨学金返還未 納金回収業務委託	中央債権回 収(株)	(H26.4.28) 210	H26.4.28 ~ H27.3.31	H26.4.28 (免除) 一般	H27.3.31 H27.3.31	精算	H26.10.20他	3,959,197		
予定価格が20万円 未満のもの										0		
本庁執行分計										5,946,937		
出納機関執行分計										0		
目 計										5,946,937		
合 計										6,737,345		

(4-2)委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

19 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(平成27年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は施設名 等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	増減理由	登記 年月日	面積		価格
行政財産		該当なし										
計												
普通財産	学生寮 (明倫館)	東京都世田谷区成城 1丁目118-217	1,259.77	590,000,000					1,259.77			590,000,000
	学生寮 (清和寮)	東京都豊島区目白4 丁目1801-29	462.80	180,193,500					462.80			180,193,500
計			1,722.57	770,193,500					1,722.57			770,193,500
合計			1,722.57	770,193,500					1,722.57			770,193,500

イ 建物 該当なし
 ウ 山林 該当なし
 エ 不動産売却等 該当なし
 オ 財産の交換 該当なし
 カ 動産 該当なし
 キ 物権 該当なし
 ク 無体財産権 該当なし
 ケ 有価証券 該当なし
 コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前 年 度 末	本 年 度 中		本 年 度 末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	79,215	189,935	225,464	43,686	
収入印紙	108,750	112,500	154,200	67,050	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	187,965	302,435	379,664	110,736	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本 年 度 末	備 考
	購 入 枚 数	使 用 枚 数 及 び 金 額		
枚	枚	枚	枚	
66	0	0 0円	66	

(3) 基 金

(平成27年3月31日現在)

種 別	前 年 度 末	本 年 度 中		本 年 度 末	備 考
		増	減		
	円	円	円	円	取崩
鳥取県授業料減免・奨学金基金	305,844,942	367,013	15,443,244	290,768,711	H26.5.28
合 計	305,844,942	367,013	15,443,244	290,768,711	

(4) 債 権

(平成27年3月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				本 年 度 末		備 考
			増		減				
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	
	円		円		円		円		
鳥取県進学奨励資金貸付金(高校・高専)	459,563,242	1,917	0	0	81,800,375	197	377,762,867	1,720	
鳥取県進学奨励資金貸付金(大学)	396,375,532	445	0	0	64,118,066	33	332,257,466	412	
鳥取県育英奨学資金貸付金(高校)	3,641,425,096	6,737	413,434,000	466	283,665,699	120	3,771,193,397	7,083	
鳥取県育英奨学資金貸付金(大学)	2,590,581,569	2,164	451,179,000	237	195,625,039	87	2,846,135,530	2,314	
修学奨励貸付金(定時制・通信制)	980,000	3	336,000	2	336,000	2	980,000	3	
合 計	7,088,925,439	11,266	864,949,000	705	625,545,179	439	7,328,329,260	11,532	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通 財産の区分	貸付目的	所在地	数量又は 面積	貸付年月日	当初貸付年月日	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所、氏名	備考
							単 価	本 年 度 貸 付 料		
行政財産		該当なし						0		
計								0		
普通財産	学生寮 (明倫館)	東京都世田谷区成城 1丁目118-217	1259.77㎡	S63.11.1	S63.11.1	S63.11.1 ~H30.10.31		無償	鳥取市東町1丁目271 (公財)鳥取県育英会	
	学生寮 (清和寮)	東京都豊島区目白4 丁目1801-29	462.80㎡	H3.6.20	H3.6.20	H3.6.20 ~H33.6.19		無償	鳥取市東町1丁目271 (公財)鳥取県育英会	
計								0		
合計								0		

イ 建物 該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの) 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(2) 物品の照会

照会年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成26年7月5日	・有 (・無)		

27 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

貸付金の名称	貸付先	貸付額		本年度(元金のみ)			本年度末現在 貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)		
鳥取県進学奨励資金(高校・高専)	貸与者	459,563,242	0	74,097,375	599,456	32,446,065	352,420,346	
鳥取県進学奨励資金(大学)	貸与者	396,375,532	0	46,000,104	0	23,176,500	327,198,928	
鳥取県育英奨励資金(高校)	高校生	3,641,425,096	413,434,000	267,996,347	24,000	524,000	3,786,314,749	
鳥取県育英奨励資金(大学等)	大学生等	2,590,581,569	451,179,000	195,489,005	0	0	2,846,272,564	
修学奨励貸付金	定時制・通信制高校生3人	980,000	336,000	0	0	336,000	980,000	
合計		7,088,925,439	864,949,000	583,581,831	623,456	56,482,565	7,313,186,587	

(2) 償還状況

鳥取県進学奨励資金(高校・高専)

区分	貸付額		本年度				本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (G-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)	
元金	459,563,242	0	183,838,361	36,021,845	599,456	0	147,217,060	377,762,867	
			49,354,310	38,075,530	0	32,446,065	11,278,780		
			233,192,671	74,097,375	599,456	32,446,065	158,495,840		
利息									
合計			233,192,671	74,097,375	599,456	32,446,065	158,495,840		

鳥取県進学奨励資金(大学)

区分	貸付額		本年度				本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (G-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)	
元金	396,375,532	0	49,239,993	9,479,404	0	0	39,760,589	331,269,294	
			41,929,738	36,520,700	0	23,176,500	5,409,038		
			91,169,731	46,000,104	0	23,176,500	45,169,627		
利息									
合計			91,169,731	46,000,104	0	23,176,500	45,169,627		

鳥取県首英奨学資金(高校)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	3,641,425,096	413,434,000	75,325,148	17,859,867	16,000	0	57,449,281	3,771,233,122		
			283,101,974	250,136,480	8,000	524,000	32,957,494			
			358,427,122	267,996,347	24,000	524,000	90,406,775			
過年度分										
現年度分										
小計										
合計			358,427,122	267,996,347	24,000	524,000	90,406,775			

鳥取県首英奨学資金(大学等)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	2,590,581,569	451,179,000	17,307,974	4,070,782	0	0	13,237,192	2,846,135,530		
			195,625,039	191,417,223	0	0	4,207,816			
			212,933,013	195,488,005	0	0	17,445,008			
過年度分										
現年度分										
小計										
合計			212,933,013	195,488,005	0	0	17,445,008			

修学奨励貸付金(定時制・通信制高校)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	980,000	336,000	0	0	0	0	0	980,000		
			0	0	0	336,000	0			
			0	0	0	336,000	0			
過年度分										
現年度分										
小計										
合計			0	0	0	336,000	0			

○ 意見・要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし